

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Main project information table including: 事務事業名 (安藤家住宅運営管理事業), 基本政策 (個性と文化を育む都市づくり), 政策 (文化づくりの推進), 施策 (歴史・伝統文化の振興), 事業期間 (単年度のみ), 所属部局 (教育委員会), 所属課室 (文化財課), 所属担当 (文化財), 予算科目 (会計 01 一般 10 04 05 050 03), 事業区分 (国の制度による義務的事業, 県の制度による義務的事業, 市の制度による義務的事業, 義務化されている協議会等の負担金), 法令根拠 (南アルプス市安藤家住宅条例), 事業費の主な内訳 (項目: 委員報酬, 臨時職員賃金, 報償金, 消耗品・光熱水費, 印刷製本費他; 金額: 36, 1,548, 150, 285, 453)

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

Table for (1) 事務事業の目的と目標. Includes: ① 活動 (24年度活動実績: 安藤家住宅運営維持管理及び公開展示; 25年度活動予定: 安藤家住宅運営維持管理及び公開展示), ② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (市内外一般住民, 小中学生, 公開展示資料), ③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか) (安藤家住宅を地域の手で守り、保存状態を維持しながら次代へ継承していく), ④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか) (ふるさとの文化に関する市民の知識を深め、市民文化の発展に寄与する)

Table for (1) 事務事業の目的と目標. Includes: ⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない (名称: ア入館者数, イ文化活動で使用した数; 単位: 人, 回), ⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (名称: ア人口; 単位: 人), ⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない (名称: ア文化活動で使用した人数; 単位: 人), ⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない (名称: ア文化財・伝統芸能の保護や継承の市民の満足度, イ地域の文化財を守り伝え活用している自主団体(NPO)の数; 単位: %, 件)

(2) 事業費・指標の推移

Table for (2) 事業費・指標の推移. Columns: 単位, 23年度 (決算・実績), 24年度 (決算見込・実績), 25年度 (予算・目標), 26年度 (次年度計画・目標), 27年度 (計画・目標), 28年度 (計画・目標), 最終年度 (トータルコスト・目標). Rows: 年間トータルコスト (国庫支出金, 県支出金, 地芳債, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), (A)+(B)), 活動指標 (人, 回), 対象指標 (人), 成果指標 (人), 上位成果指標 (% 件)

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table for (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等. Includes: ① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか? (合併した当時から平成20年3月までは県の所管だったが、この間は指定管理を受け運営していた。平成20年4月からは所管が市へ移管されている。), ② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は? (市内小学校での社会科見学の定着。一回ではなく再度、季節ごとに訪れる人も多くなって来ている。今後は地域から愛されるような憩いの場所になりつつある。), ③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか? (原型のまま次代へ継承していけるように、また昔の人の生活や季節の祝い事慣わしなどを感じる場にしてほしい)

(4) 改革改善の取り組み状況

Table for (4) 改革改善の取り組み状況. Includes: ① 改革改善の取り組み実施は? (取り組みしている =>【内容↓】 取り組みしていない =>【理由↓】), ② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由) (地域の手で池や庭園の清掃。地元消防団による消防設備ポンプの点検等行ってもらっている), ③ H 24年度に実施した改革改善の内容 (地域の手で池や庭園の清掃。地元消防団による消防設備ポンプの点検等。屋外トイレの改修(便器の一つを和式から洋式へ)。

事務事業名	安藤家住宅運営管理事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	-------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財は地域の大切な資源といえ、地域文化振興の素材となりうる
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 当文化財は市の所有であるため、維持管理を行うのは妥当であり必然である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市所有の文化財であるので、維持管理を継続的に行うのは妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 県内外への広報活動、スタッフの育成、施設の整備、展示資料の充実
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 建物が老朽化し、古来から守り伝えられてきた文化財を次代に国指定重要文化財保護、伝授していくために一般公開し、維持管理をして行く義務がある
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 国指定重要文化財として最低限の管理を行っていくためにはこれ以上の削減余地はない
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状では管理に必要な最低限の人件費のみであり、これ以上の削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域市民等に広く公開しているので妥当

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	安藤家住宅の公開を行いながら、施設の管理を行っている。昔の人の生活、環境にふれながら先人の思いを知る良い機会の場となっており、入館者も年々増えて来ている。今後、重要文化財を保護しながら、よりよい住民の憩いの場として行くためにも、人的配慮、トイレのバリアフリー、駐車場の改善を行ってきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
①入館者拡大のため、県内外への広報活動 ②管理運営のための人員確保 ③付帯施設の改善	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	④																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	④																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
①パンフレット、企画展等のチラシの配布(県内外) ②スタッフの増員 ③トイレの改修																						